

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1179号	氏名	土居 寿志
論文審査担当者		主査教授 丹羽 正美 副査教授 相川 忠臣 副査教授 関根 一郎	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、新しい胃排泄促進薬の作用機序を実験的に明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 アフリカツメガエル卵母細胞に発現させたムスカリン性 M1、M2 および M3 受容体のアセチルコリン誘発電流を最新のパッチクランプ法で解析しており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、新しい胃排泄促進薬 Z-338 の M1 および M2 受容体の阻害作用を発見し、消化管運動調節薬創薬の今後の進展がおおいに期待される。			
以上のように、本論文は新しい消化管運動調節薬の開発へ貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			

(注) 報告番号は記入しないこと。